

河辺町 1～3 丁目地区におけるグリーンスローモビリティの実証運行に関する地元自治会との協議結果

- 令和5年7月19日(水)に、河辺町南自治会館において、河辺町1～3丁目の自治会関係者などを対象に、公共交通施策の実施に係る協議を行いました。
- テーマは河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティの実証運行(令和5年度)の取り組みについてです。

目次

1 打ち合わせ会の概要	2ページ
2 配布資料：河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するワークショップ	3～15ページ
3 意見交換の概要	16～17ページ

1 打ち合わせ会の概要

○以下のとおりです。

1 日時

令和5年7月19日（水）午後7時～午後8時25分

2 会場

河辺町南自治会館（青梅市河辺町2丁目1026番地）

3 出席者

地域住民等 : 計16名
青梅市市民安全部交通政策課 : 河村、高橋
株式会社アルメック : 高尾、倉岡、今井

4 配布資料

- ・河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するワークショップ（スライド投影）
- ・参考資料1 令和2年度河辺1～3丁目地区_地域住民アンケート調査結果
- ・参考資料2 河辺町1～3丁目地区における収支の試算等
- ・参考資料3 グリーンスローモビリティ試乗イベント（令和5年1月）
- ・青梅市地域公共交通計画_概要版（冊子）

5 打ち合わせ会

1. 課長あいさつ
2. 資料説明
(1) 令和2年度実施「新たな地域公共交通の利用意向に関するアンケート調査」の報告
(2) 令和4年度のグリーンスローモビリティ試乗イベントの報告
(3) 令和5年度の取組みについて
3. 意見交換



河辺町南自治会館前
(停留所設置を想定)



打ち合わせ会の様子

2 配布資料：河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するワークショップ

○次ページ以降に示します。

公共交通施策の実施に係る打合せ会

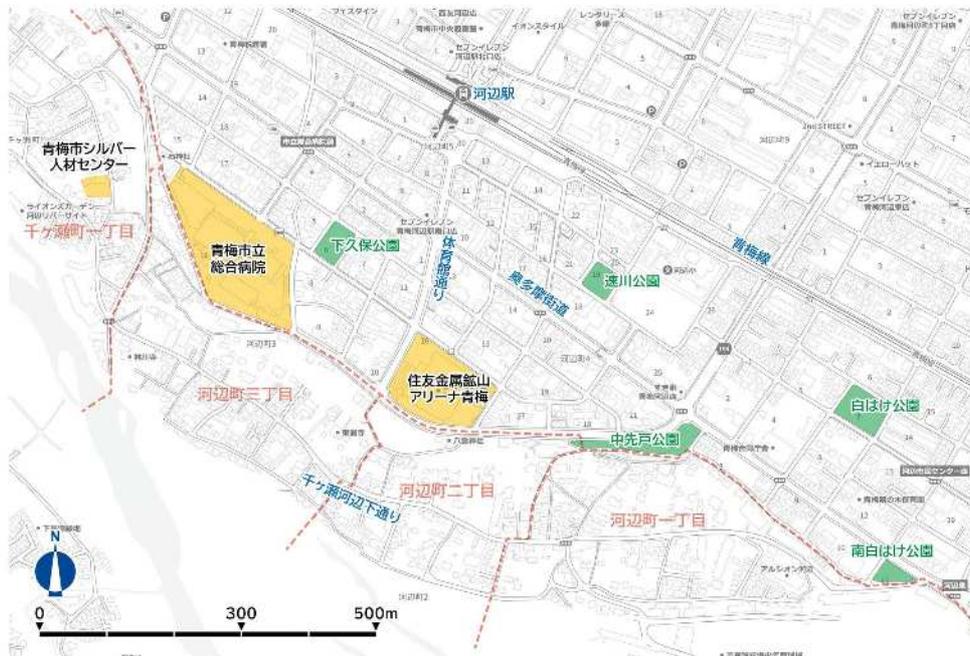
河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けた
グリーンスローモビリティの実証運行に関するワークショップ

1. 令和2年度 アンケート結果の概要
2. 令和4年度 グリーンスローモビリティ試乗イベントの概要
3. 今後の予定
4. 河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けた
グリーンスローモビリティの実証運行計画（案）

令和5年7月19日

青梅市公共交通協議会・青梅市市民安全部交通政策課

河辺町1～3丁目地区周辺



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS（令和5年7月）

1.令和2年度 アンケート結果の概要

- (1) アンケートの実施概要
- (2) アンケート結果の概要
- (3) 利用人数の推計



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

2

(1) アンケートの実施概要

①調査名

2020(令和2)年度河辺町1～3丁目における新たな地域公共交通の利用意向に関するアンケート

②アンケート対象者

河辺町1～3丁目町会・自治会加入者

③実施期間

2021(令和3)年1月29日(金)～2月24日(水)

④配布・回収結果

	封書	票	備考
配布	583	1,749	1封書に3票封入
回収	242	418	平均 1.73
有効	241	413	
無効	1	5	白紙、回答拒否
有効回収率	41.3%	-	封書/封書
有効回収率	-	70.8%	票/封書

問2 住所

SA		実数	割合
1	河辺町1丁目	210	50.8%
2	河辺町2丁目	80	19.4%
3	河辺町3丁目	120	29.1%
4	そのほか	2	0.5%
	無回答	1	0.2%
	合計(人)	413	100%



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

3

(2) アンケート結果の概要

問8 日常生活のなかで最も多く行った目的地

SA		実数	割合
1	河辺駅周辺	217	52.5%
2	東青梅駅周辺	2	0.5%
3	青梅駅周辺	2	0.5%
4	河辺駅・東青梅駅・青梅駅周辺以外の市内	80	19.4%
5	市外(多摩地域)	65	15.7%
6	市外(23区)	23	5.6%
7	都外(飯能市、入間市)	8	1.9%
8	都外(飯能市、入間市以外)	10	2.4%
9	外出しないためない	1	0.2%
	無回答	5	1.2%
	合計(人)	413	100%

問10 問8の場合、主な目的

MA		実数	割合
1	通勤	163	39.5%
2	通学	4	1.0%
3	買い物	290	70.2%
4	通院・見舞い	91	22.0%
5	銀行・郵便局の利用	126	30.5%
6	市役所	22	5.3%
7	体育館や図書館など	34	8.2%
8	そのほか	35	8.5%
	無回答	15	3.6%
	合計(人)	413	-
	合計(件・無回答除く)	765	-



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月)

4

問11 普段の外出で交通に関する困りごと・問題点

MA		実数	割合
1	どこに行くにも坂を上ることになるため不便	304	73.6%
2	自転車を使って移動しているが行きは坂がきつく押して上ることになる	82	19.9%
3	自動車を運転できなくなったとき日常生活を送ることができるか心配	204	49.4%
4	病院やスーパーがないため何をすることも坂を上っていく必要がある	253	61.3%
5	朝夕の通勤・帰宅時間帯に住民以外の自動車が地区内に入ってくる	156	37.8%
6	路線バスのバス停が遠すぎる	103	24.9%
7	狭くて交通安全上危険な道路が多い	201	48.7%
8	そのほか	36	8.7%
	無回答	14	3.4%
	合計(人)	413	-
	合計(件・無回答除く)	1,339	-



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月)

5

問12 新たな地域公共交通が自宅の近くを走ることになった場合利用するか

SA	実数	割合
1 運行したらすぐに利用したい	139	33.7%
2 将来高齢による運転免許の返納等が必要になったら利用したい	212	51.3%
3 利用しない	53	12.8%
4 そのほか	8	1.9%
無回答	1	0.2%
合計(人)	413	100.0%
合計(無回答除く)	412	-

「運行したら
すぐに利用したい」
33.7%

問14 最も多く利用する時間帯で、1時間に何本あれば良いか

SA	実数	割合
1 1本程度 (1時間間隔)	86	24.0%
2 2本程度 (30分間隔)	178	49.6%
3 3本程度 (20分間隔)	87	24.2%
4 そのほか	4	1.1%
無回答	4	1.1%
合計(人)	359	100%
合計(無回答除く)	355	-

1時間に「1本程度」と「2本程度」あわせて
73.6%

問15 自宅等から最寄りのバス停まで、歩いてどのくらいまでだったら利用するか

SA	実数	割合
1 約3分以内	175	48.7%
2 約5分以内	154	42.9%
3 わからない	19	5.3%
4 そのほか	10	2.8%
無回答	1	0.3%
合計(人)	359	100%
合計(無回答除く)	358	-

自宅から最寄りのバス停まで「約5分以内」なら利用
42.9%



(3) 利用人数の推計

■ 1日あたり利用人数の算出

		18～64歳	65歳以上
人口	河辺町1	1,005	494
	河辺町2	456	159
	河辺町3	278	185
	合計	1,739	838
1日あたり利用率		7.9%	8.1%
利用人数		138	68
利用人数計		206人	

■ 1日あたり利用人数の算出 (歩留を考慮)

歩留まりとして考慮する項目	乗じる値	備考
「運行したらすぐに利用したい」のうち「64歳以下」を半数を対象とする	×0.797	問12から
運行間隔は1時間に「1本程度」と「2本程度」あわせて73.6%	×0.736	問14から
停留所まで「約5分以内」は42.9%	×0.429	問15から
計	×0.25	
		206人×0.25= 52人

5人乗車できる車両で、
1日に約10便が必要



2.令和4年度 グリーンスローモビリティ試乗イベント 結果報告

- (1) 1月29日(日)・30日(月)の実施概要・結果
- (2) 1月31日(火)の実施概要・結果
- (3) 利用者アンケート調査の結果



(1) 1月29日(日)・30日(月) 実施概要・結果

①会場・主催・協力など

【会場】住友金属鉱山アリーナ青梅 東側広場

【主催】青梅市公共交通協議会・青梅市

【協力】東京都都市整備局、京王自動車株式会社、
株式会社モビリティワークス、東京都交通局、
西武バス株式会社、西東京バス株式会社、
東日本旅客鉄道株式会社(順不同)

【目的】乗車体験を通じ、新たな移動手段の利用機運を醸成すること。
また、パネル展示等のモビリティ・マネジメントにより、
多様な移動手段があることを周知すること。



②運行概要

【コース】右図参照・1時間あたり4本運行(臨時便を除く)

【距離】約1.4km(所要時間8～10分)

【車両】1台(4人乗り/うち京王自動車(株)の乗務員1人)

③試乗者数

159人(29日・30日合計)



(2) 1月31日(火)の実施概要・結果

①会場・主催・協力など

【会場】青梅市民球技場

【主催】青梅市公共交通協議会・青梅市

【協力】東京都都市整備局、株式会社モビリティワークス

【目的】乗車体験を通じ、

新たな移動手段の利用機運を醸成すること。

②運行概要

【コース】右図参照・随時運行

【距離】約1.2km(所要時間8分)

【車両】1台(4人乗り/うち青梅市職員の運転手1人)



③試乗者数

29人



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月)

10

(3) 利用者アンケート調査の結果

(アンケート回答者数)
1月29日・30日…125人
1月31日…29人
合計…154人

お住まい

	n	%
青梅地区	9	5.8
長淵地区	7	4.5
大門地区	14	9.1
東青梅地区	12	7.8
新町地区	10	6.5
河辺地区	57	37.0
今井地区	2	1.3
梅郷地区	3	1.9
沢井地区	3	1.9
小曾木地区	1	0.6
成木地区	0	0.0
市外	22	14.3
無回答	14	9.1
合計	154	100.0

年齢

	n	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	4	2.6
30歳代	13	8.4
40歳代	28	18.2
50歳代	33	21.4
60歳代	31	20.1
70歳代	29	18.8
80歳以上	15	9.7
無回答	1	0.6
合計	154	100.0

運転免許証

	n	%
保有していない	11	7.1
保有している	138	89.6
返納した	4	2.6
無回答	1	0.6
合計	154	100.0

日常の移動手段

	n	%
自動車	113	125.6
鉄道・ケーブルカー	58	64.4
路線バス	22	24.4
タクシー	3	3.3
バイク・オートバイ	9	10.0
自転車	41	45.6
車いす・電動カート	1	1.1
徒歩	69	76.7
その他	1	1.1
無回答	3	3.3
合計	90	-



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月)

11

乗り降り

	n	%
乗り降りしやすい	141	91.6
乗り降りしにくい	1	0.6
どちらでもない	11	7.1
無回答	1	0.6
合計	154	100.0

速度

	n	%
速度が速い	10	6.5
速度はちょうど良い	133	86.4
速度が遅い	9	5.8
無回答	2	1.3
合計	154	100.0

乗り心地

	n	%
乗り心地が良い	104	67.5
乗り心地は普通	43	27.9
乗り心地が悪い	5	3.2
無回答	2	1.3
合計	154	100.0

乗車時間

	n	%
乗車時間が短い	38	24.7
乗車時間はちょうど良い	112	72.7
乗車時間が長い	0	0.0
無回答	4	2.6
合計	154	100.0

乗り降りのしやすさ、速度についてはちょうど良いとの回答が得られた。
乗車時間は試乗会で試した10分程度が「ちょうど良い」とのことであった。

**【乗客】自由意見について**

- ・気候に関するもの … 23件 主に「寒い」「風や雨の対策が気になる」
- ・実現意向に関するもの… 17件 主に「早く実現してほしい」
- ・乗り心地に関するもの… 14件 主に「ドアが無いのが不安」「乗り心地が良かった」
- ・車内関係に関するもの… 8件 主に「ひじ掛けが低い」「荷物の置き場所が欲しい」
- ・利用形態に関するもの… 7件 主に「タクシーのような利用ができると良い」
- ・運賃に関するもの … 7件 主に「1回100円程度が良い」

【青梅市公共交通協議会】主な意見について

- ・定時定路線を運行するのは大変。空調が無いので体調管理が心配。
- ・運転手の担い手が気になる。
- ・車両の勾配がどこまで対応できるかが気になる。



3. 今後の予定

7 実施工程

公共交通施策は、以下の工程により推進します。

公共交通施策	現状	実施工程(年度)						
		前期					後期	
		令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	～令和14 (2032)	
(1)公共交通のネットワークとサービスの維持	①施設送迎バスの活用							
	②既存の公共交通の補完							
	③まちづくりにあわせ路線の再編 まちづくりの動向の把握/検討							
(2)鉄道と路線バスのサービス圏外の解消	①新たな公共交通の導入							
(3)三鷹市他地域に於ける	②新たな公共交通の導入							

青梅市では…

昨年度までの河辺町での実績を踏まえ、今年度も引き続き

「新たな公共交通の導入」に向けた動きを進めたい。

- ・令和4年度…イベントの開催(新たな乗り物として「グリスロ」を試乗していただく機会の創出)
- ・令和5年度…実証運行①(三鷹市の事例などを参考に、予算の範囲内で無料運行を行う。)
- ・令和6年度…本運行に向けた準備
- ・令和7年度…本運行

青 河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月) 14

【今回の実証運行の目的】

- (1)グリーンスローモビリティの乗車を通じ、新たな移動手段を体験する。
- (2)新たな移動手段の本運行を見据えた「需要」と「課題」を探る。
- (3)地域公共交通計画の達成を見据え、鉄道・路線バスのサービス圏外の解消を目指す上での「課題」を探る。

【実証運行後の予定】

運行終了後	アンケートの集計、警察・運輸支局へのヒアリング	実証運行期間での問題点の把握	
令和6年2月	河辺町1～3丁目地域住民との意見交換	集計結果の公表、6年度の動き	
令和6年3月	青梅市公共交通協議会	地域公共交通会議の機能を持たせるよう準備	
令和6年4月以降	本運行に向けた動き	●事業決定	
		●事業主体の選定・協議(誰が運転するか)	
		▲一般乗合旅客自動車運送事業の申請(事業主体によっては)	運輸局での標準処理期間:約3か月
		●地元自治会との協議(停留所の位置など)	
		●所轄警察署との協議(他の交通への影響など)	
		●道路所管部署との協議(交通安全面での対策など)	
令和7年4月	本運行	運輸局での標準処理期間:約3か月	

青 河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS(令和5年7月) 15

4.令和5年度 グリーンスローモビリティ実証運行計画(案)

- (1) 運行内容
- (2) 停留所について



(1) 運行内容

- | | |
|--|--|
| <p>①主催
青梅市市民安全部交通政策課
青梅市公共交通協議会</p> <p>②運行期間
令和5年10月～11月(2ヶ月)</p> <p>③運行形態・運賃
定時定路線(予約不要)・全区間無料</p> <p>④運行区間
河辺駅南口～河辺町1丁目方面(東ルート)
河辺駅南口～河辺町3丁目方面(西ルート)
河辺駅南口～青梅市立総合病院(病院ルート)</p> | <p>⑤運行日
月曜日～土曜日(日曜日・祭日は全便運休)</p> <p>⑥乗務員
京王自動車株式会社青梅営業所に依頼</p> <p>⑦車両および運行支援
ヤマハ発動機株式会社
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)</p> <p>⑧事業支援
東京都都市整備局都市基盤部交通企画課</p> |
|--|--|



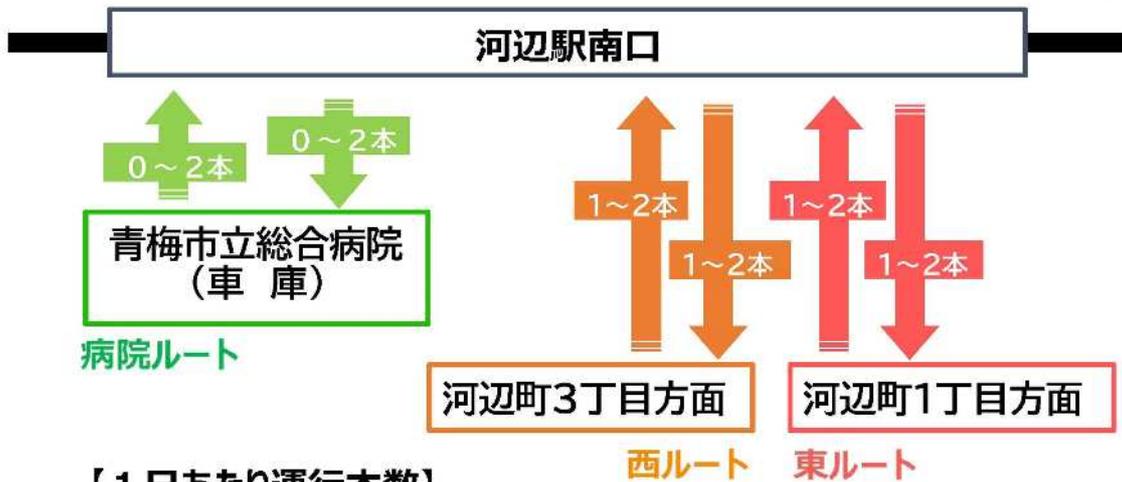
運行ルート



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

18

⑨ 1時間あたり運行本数 ※運行ダイヤは調整中



【1日あたり運行本数】

- 各ルート片道6便程度を予定します。
- 運行時間は午前10時～午後4時までを予定します。
※日中時間帯、1日6時間を限度に地域の方と調整します。
- 病院ルートは路線バスとの運行間隔調整を図ります。



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

19

⑩-1運行車両～ヤマハ発動機AR-07（1台）



AR-07
7人まで座れるパワフルな搬送力

- ・ 座席3列全てにゆったりとした空間を実現し、低床フロアで乗り降りもスムーズ。
- ・ 観光案内に、地域住民の足に、地域ブランディングに。地域が抱える様々な交通課題を解決。

自動車規格 **小型** 乗車定員 **7** バッテリー 手動運転 自動運転

出典：ヤマハ発動機（株）ホームページ



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS（令和5年7月）

20

⑩-2運行車両～ヤマハ発動機AR-07 諸元表

走行方式	手動式 / 自動式	駆動方式	DCモーター
全長	3,955mm	バッテリータイプ	リチウムイオンポリマー電池 73V×113Ah
全幅	1,354mm	定格電圧	72V
全高	1,837mm	定格出力	3.5kW
軸間距離	2,940mm	充電器方式	車載式定電流充電器(单相200V)
トレッド 前/後	965 / 975mm	登降坂性能	20度登降坂
最低地上高	115mm	手動時走行速度	0～19km/h
車両重量(手動/自動)※	590kg / 610kg	ブレーキ方式	油圧式四輪ディスク
最小回転半径	4.5m	パーキングブレーキ方式	電磁ブレーキ オートロック
乗車定員	7人	タイヤサイズ	190/50-12 4PR
ナンバー登録時	小型自動車	サスペンション 前/後	前：ダブルウィッシュボーン式 後：リンク式
		ステアリング	ラック&ピニオン式

出典：ヤマハ発動機（株）ホームページ



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS（令和5年7月）

21

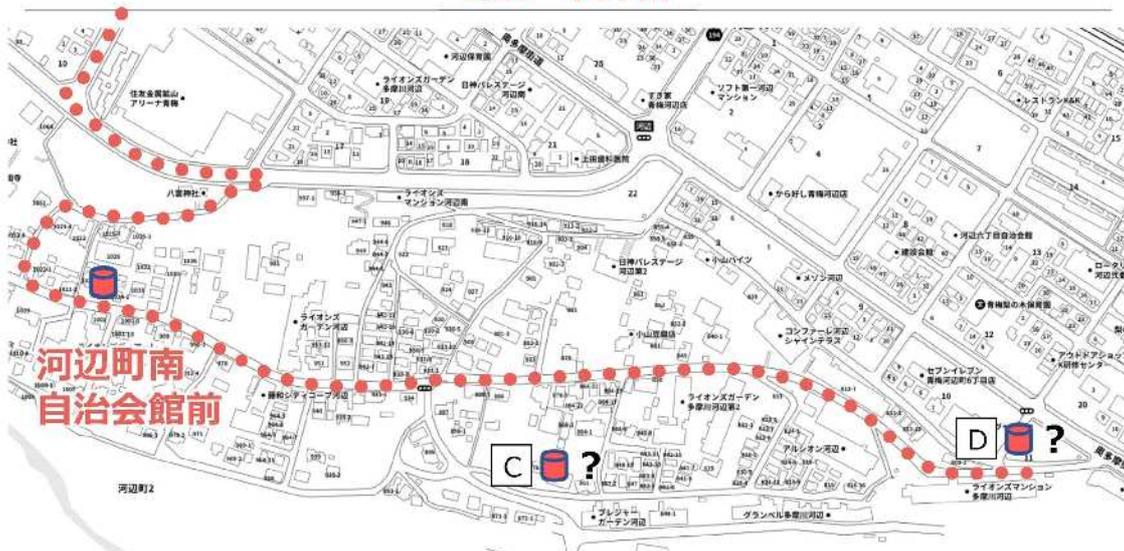
(2) 停留所について ※停留所名はすべて現時点での仮称です



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

22

東ルート詳細



- C. 河辺町南自治会館以東に停留所を設置する予定
D. 東ルートの終点の場所を決めかねています



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンスローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月)

23

西ルート詳細



河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月) 24

決まっていること	今日決めたいこと	決まっていないこと
運行期間(10月～11月)	運行時間(1日最大6時間)	東ルートの終点
運行日(祝日を除く月曜日～土曜日)		西ルート停留所
乗務員(京王自動車)		東ルート停留所
車両(7人乗りグリスロ)		
大まかなルート		
運賃(無料)		
定時定路線(予約不要)		

【実証運行開始までの予定】

7月19日	地元との協議①
7月20日	東京運輸支局との相談
8月	車両および運行支援事業者との協議、実地検証
適宜	地元警察署との協議
9月	青梅市公共交通協議会
9月	地元との協議② ・停留所・運行ダイヤなどのタイミングでお示しします。
10～11月	実証運行

河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の導入に向けたグリーンズローモビリティの実証運行に関するWS (令和5年7月) 25

3 意見交換の概要

(1) 運転形態

【今回は定時定路線、運賃を無料とする】

- ・足の不自由な高齢者などを考慮し、自宅に近いところから乗車できる予約制にしてはどうか。

(2) フリー乗降

【今回は定時定路線として停留所を設ける】

- ・フリー乗降はできないか。
 - ⇒交通管理者から「道路が狭い地域のため路上での乗降は認められない、路外で乗降すること」と指導されているので、フリー乗降は難しい。(青梅市回答)
- ・家から2～3歩のところに乗降場があるとよい。

(3) 雨など

【今年1月の試乗イベントでは「寒い」という声が多かった】

- ・冬場は寒く、雨になると大変なので対策をしてもらいたい。
 - ⇒風・雨除けのカーテン(エンクロージャー)をひくことができる。(青梅市回答)
- ・悪天候の際の運行休止の周知が課題だ。
- ・高齢者のことも考慮し、運休等の情報提供方法を検討してほしい。
- ・気温や天気は1年通じて変わる。令和6年度では違う時期に実証運行を行い、影響を把握するとよい。

(4) 運行時間

【説明では10時～16時をベースに6時間程度と説明】

- ・高齢者は8時、9時に病院に行くケースが多い。より早い時間帯から運行したほうがいい。

(5) ルート

【河辺駅～河辺町1丁目方面など「3路線」を設ける旨説明】

- ・往復型だと駅まで遠くなる地点があるので、途中で折り返さずJR青梅線際を平行に結ぶ市道などを走り、河辺駅南口を起終点に地域を大きく丸く結ぶ循環型も考えられないか。
- ・千ヶ瀬河辺下通りは、朝夕にかなり交通量があり、なかにはスピードを出している車両もみられる。このため、この通りより南の道路をルートにした方が良いのではないか。
- ・河辺町1～3丁目地区から青梅市立総合病院へそのまま行けるようなルートはできないか。
- ・西ルートと東ルートを乗り継げるようにすると河辺町1～3丁目間を移動できる。

- ⇒今回の実証運行は各地区から河辺駅に至る行程を予定している。車両が1台しかないことなどから、乗り継ぎについては特段考えないこととしたい。(青梅市回答)
- ・東ルートの南白はけ公園外周でターンするのは難しい。
 - ⇒都道の通行は行わないことから、ターンの方法については別の方法を考えたい。(青梅市回答)

(6) 停留所

【河辺駅から坂を下りるまでは無停車とし、

千ヶ瀬河辺下通りでの停留所設置などを提起した。】

- ・アンケートでも病院と買い物で利用したいという意見がある。そのような施設と連携して停留所を確保するとよい。
- ・東ルートの東端をドラッグセイムス青梅河辺6丁目店(ドラッグストア)にしたらどうか。自治会からも交渉に同行することは可能である。
 - ⇒病院や商店との連携、東端の場所については地元自治会の方のご支援もいただきながら工夫の上、確保していきたい。(青梅市)
- ・店舗でもマンションでも停留所が設置できたらメリットがあるので、交渉すれば可能だと思う。マンション住民も高齢化しているので、その駐車場などで乗降できれば利用していただける可能性がある。
- ・市役所と自治会で連携して交渉していくことが必要だ。
- ・春日神社とシルバー人材センターの間は距離が短いので、停留所はいらんのではないか。
- ・住友金属鉾山アリーナ青梅(市立総合体育館)は停留所として頼めるのではないか。そこが使えるれば、病院には簡単に歩いて行けるので便利だ。